

1. 授業の概要(ねらい)

「人はなぜいま食べているものを食べているのか」。

この授業では、人文社会科学(経済学、歴史学、社会学、文化人類学、文学など)におけるさまざまな考え方を参考にしながら、人間の食行動について、その多様な動機について一緒に考えていきます。

観光や旅行においても、食行動には多くの選択肢があるにもかかわらず、なぜ特定の時間・場所・仲間(人数)・食材・料理などを選ぶのでしょうか。こうした疑問について改めて考えてみることは、人間や社会の本質を知ることにも繋がります。

2. 授業の到達目標

- ① 毎回の授業で取り上げる概念や理論を、自分の言葉で簡単に説明できる。
- ② 人間の食行動の背景にあるさまざまな動機を知る。
- ③ 日常生活や旅先での食行動について、その理由の可能性を検討できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(40点):① 授業内課題、② 授業への参加、③ 出席状況など
中間課題(30点)
期末レポート(30点)

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。必要に応じて、授業時に配布します。

参考文献

山下晋司編 『観光学キーワード』 (有斐閣、2011年)
安井大輔編 『フードスタディーズ・ガイドブック』 (ナカニシヤ出版、2019年)
中村忠司編 『人はなぜ食を求めて旅に出るのか: フード・ツーリズム入門』 (晃洋書房、2022年)

5. 準備学修の内容

毎日の食生活のなかで「なぜこれを食べているのだろう、なぜこれを飲んでいいるのだろう」ということについて、少しだけ理屈っぽく考えてみてください。

普段活用しているメディア(インターネット、SNS、新聞・雑誌など)で紹介されている食に関する情報や新刊図書などに目を配り、どのようなテーマが話題になっているかを意識するよう心がけてください。

6. その他履修上の注意事項

各回テーマに関する文献リストの詳細は、適宜授業内で指示します。

以下の授業内容や順番は、履修者数などに応じて、一部変更になる可能性もあります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 自分の食行動について考える【オンライン(LMSによるオンデマンド形式)】 |
| 【第3回】 | 経済学の視点 |
| 【第4回】 | 地理学の視点 |
| 【第5回】 | 歴史学の視点 |
| 【第6回】 | ドキュメンタリーの鑑賞 |
| 【第7回】 | 公共圏 |
| 【第8回】 | 顕示的消費 |
| 【第9回】 | 文化資本 |
| 【第10回】 | 宗教と禁忌(タブー) |
| 【第11回】 | ジェンダー |
| 【第12回】 | 拒食と過食 |
| 【第13回】 | メディアと視覚情報 |
| 【第14回】 | 日常性 |
| 【第15回】 | なぜ食べているものを食べているのか? |